

議第5号議案

パレスチナにおける人命保護と平和実現を求める意見書

イスラエル軍とパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区の危機的状況は厳しさを増し続けている。パレスチナ側の死者は4万人を超え、そのうち1万6,000人以上は子どもと報道されており、飢餓や感染症の蔓延、家族や友人の喪失、爆撃への恐怖など、その被害の影響は計り知れない。

我が国は、議長国として開催したG7（主要7か国）外相会合において、テロ攻撃を断固として非難することやガザ地区の人道危機に対処するため、戦闘の人道的休止を支持するとした緊急声明を発表し、2024年4月18日に国連安全保障理事会にてパレスチナの国連加盟に賛成の意を表明している。

パレスチナの一刻も早い長期的な停戦は誰もが望むところであり、紛争の収束を求める動きは活発化しつつある。また、当事者間及び国際社会においても、停戦に向けた交渉が始まっており、今こそ全ての当事者、関係各国、国際機関が、即時停戦の国際世論を高めるために行動することが強く求められている。

よって、国及び政府におかれては、パレスチナにおける人命保護及び一刻も早い平和と自立した復興を実現するため、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと、即時停戦及び恒久的な平和合意の締結に向けた適切な外交努力を積極的に講じられるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月

埼玉県羽生市議会議長 松本敏夫

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

内閣総理大臣 殿
内閣官房長官 殿
外務大臣 殿

令和6年9月24日提出

埼玉県羽生市議会議員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

斎藤	万紀子
小林	誠 弥
川田	佳 子
小野田	真 也
野中	和 男
西山	一 城
増田	丈 由
柳沢	敏 雄
中島	直 暁
島村	直 樹
丑久保	恒 勉
	行